

# 新入荷商品のご紹介



上品で上質な沖縄が生んだ気品を感じさせる首里花織です。コーディネートであなたを際立たせてくれます。

和宇慶むつみ 首里花織 名古屋帯 540000円



くろちく  
ラウンドバッグ 4950円

普段使いに丁度良いサイズ感で、かわいく立体的な刺繍のほいつつ、軽量で使いやすいくろちくのバッグです。



白の地紋のは  
いった台に更紗  
の色使いが印象  
的な鼻緒を合わ  
せて、おしゃれ  
な足元を演出し  
ます。

かわちやお誂え草履 39600円



七宝という伝  
統的な柄をモ  
ダンな色使い  
で素敵に仕上  
がっています。  
フアス  
ナーや中の色  
のオレンジが  
おしゃれを引  
き立てます。

新作印伝 『HISOKA』 9020円

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

## きもの新聞 2024年11月号

### ごあいさつ



気候が涼しくなるにつれて食欲の秋で、ついつい食べ過ぎてしまいますよね。最近晩御飯でお好み焼きを作って食べることはまっていて、ホタテやらエビやらお店で食べたらずかしが入っていない具をゴージャスに入れてリッチな気分を味わって、食欲の秋を満喫しています。

12月の連休

毎週火曜日・水曜日定休

※まだまだ水曜日休みが定着しておらず、ご迷惑をおかけしております。

## 特集 和宇慶むつみさんの首里花織の魅力



14～15世紀(約500年前)の琉球王国は、東南アジア・中国と盛んに交易を行い、その交流により織の技術を学び、幾百年と積み重ねられ、人々の努力によって沖縄の気候風土に育まれた多種多様な琉球織物の個性を生み出しました。沖縄は「工芸の宝庫」と言われていますが、特に織物はそれぞれ特徴のあるものが、県下各地で織り継がれています。その中でも、首里王府の城下町として栄えた首里では、王府の貴族、士族用に、色、柄共に、究極まで追求された格調高く、悠々として麗らかな織物が、織り継がれ現在に至っています。その一つである首里花織はその優雅で繊細な作りに、思わず息をのんでしまいます。和宇慶むつみさんの名古屋帯は上品な色使いで、ひかえめながらも上質でワンランク上のコーディネート演出してくれます。まさに、着る人を主人公に引き立ててくれ、幅広いシーズンに使える重宝する逸品です。

SNSで情報発信中!

かわちやの新作商品や産地のものづくりの話、竹次郎カフェの開催日などSNSでも発信しています。

フェイスブック



kawachiya888

インスタグラム



kachuan888



呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

<https://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539